

西伯町・会見町合併協議会  
協議会だより

# きずな



両町のきずなを大切に、  
みんなで合併を進めよう!



5号 2003年6月

乳児保育を行い現在127人の園児が通っています。地域と保護者との連携を大切にしたい保育園を目指しています。

発行：西伯町・会見町合併協議会 (TEL 48-3375 FAX 48-3376) 編集：西伯町・会見町合併協議会事務局  
ホームページ：<http://www.saihaku.net/aimi/>  
E-mail：[otayori@sanmedia.or.jp](mailto:otayori@sanmedia.or.jp)

西伯町 8,174人 (男3,888人 女4,286人) 会見町 4,158人 (男1,961人 女2,197人) 平成15年5月31日現在

# 新町事務所の位置は七月協議会で決定

## 第六回協議会開催

六月五日（木）午後一時三十分より西伯町役場会議室において第六回協議会が開催されました。

## 新町の事務所の位置は継続協議

新町における事務所の位置は、第三回協議会において、住民サービス・業務効率を低下させない、新事務所の業務移管に著しい費用を伴わない方法等総合的に検討していく決定をいたしました。今回は新庁舎建設の場合と、現有庁舎活用の場合の管理費を提示し比較検討しましたが、更なる詳細な比較資料の提出と、検討を重ねた上で七月開催の協議会において決定していくこととしました。

## 新町の名称の選定方法を決定

名称の決定に当たり、一次・二次・三次選定を行い、候補数をそれぞれ、四十・二十・五点程度に絞り、この中



## 第七回協議会協議項目を提案

建設事務については、町道認定路線の再検討、現在工事中の道路改良工事の継続と、新規計画を新町で検討。改良工事・舗装工事等の地元負担金の調整など二十項目の提案を行いました。

## 地籍調査の事務の取り扱いは両町計画を継続

から協議会で協議の上、十二月開催の協議会で最終決定していくことを確認しました。地籍調査業務とは、土地の所有者・地番・地目及び境界の調査と面積の測定を行い、台帳と地図を作成する業務です。

現在、両町ではそれぞれが調査区域を選定し調査を実施しています。協議会では、両町の計画そのままを新町においても実施していくことを決定しました。

## 住民記録等事務の取り扱い

住民票などの窓口業務を行う電算システムは、総合的なシステムに統合する調整方針を提案しました。

## 国民年金事務の取り扱い

国民年金事務は、国民年金法による国の制度に基づくものであり、現在の両町の制度をそのまま引き継ぐ提案を行いました。

## 環境事務の取り扱い

環境業務は、ごみの処理、水質検査、狂犬病予防、蚊・蠅の駆除の事業の調整方針を提案しました。

## 新町名は、七百十人・三百九十三種類集まる

新町の名称募集を五月三十日まで締め切りました。会見町から二百七名、西伯町から四百四十九名、そして両町出身者等を併せ、七百十名の応募がありました。七百十名の応募の内、重複するものを除くと三百九十三種類の名称となりました。この中より新町の名称を決定していくこととなります。

応募いただきました皆さん大変ありがとうございました。

## 23点は第1次選定候補に決定

名称	読み方	応募数	名称	読み方	応募数
西会町	さいあいちょう	31	西伯町	さいはくちょう	8
さいあい町	さいあいちょう	25	伯見町	はくみちょう	8
伯会町	はくあいちょう	20	花見町	はなみちょう	8
会伯町	あいはくちょう	16	桜柿町	さくらがきちょう	7
会西町	あいさいちょう	14	桜町	さくらちょう	7
会見町	あいみちょう	13	西伯耆町	にしほうきちょう	7
あいみ町	あいみちょう	13	西見町	にしみちょう	7
桜見町	さくらみちょう	12	桜花町	おうかちょう	6
南部町	なんぶちょう	12	西会町	さいかいちょう	6
伯耆町	ほうきちょう	12	西見町	さいみちょう	6
最愛町	さいあいちょう	11	緑水町	りよくすいちょう	6
あいさい町	あいさい町	10			

応募数の多い名称から、20位までの23点が新町名称決定の第1次選定候補となります。その他、第1次選定候補には協議会委員の推薦の名称も加わります。これ以外の名称については、別紙をご覧ください。

# 両町を花いっぱいにする週間

## 第二回 まちづくり委員会開催

第二回目まちづくり委員会を、六月十二日・十五日の両日に、西伯町と会見町をぐるっと一周する見学会を開催しました。

### 両町をバスで見学

西伯町のプラザ西伯を出発し、上長田・東長田地区へ。そして会見町へ入り朝金・鶴田・天萬地区と周り、再び西伯町の東西町から・大國・法勝寺地区を周ってプラザ西伯に帰る約二時間三十分の行程をマイクロバスで見学しました。

### 両町の感想を意見交換

その後プラザ西伯において意見交換会を開催しました。「西伯町はやはり広い、山林等土地資源の利用方法によっては活性化が図れるのではないか。」「西伯町と会見町は子供を育てる環境としてはいい。」「若い人達と対話ができる環



両町を見た感想は！

境と緑を守っていくことも大切。」との意見と、「西伯町は谷が深く土質が弱い、会見町に比べ災害が心配。」「西伯町と会見町では生活にギャップがあり、交流と努力が必要。」との厳しい意見もいただきました。

## シリーズ 新町への期待を聞く

### 農家は今、新町に何を

#### “夢と希望あるまちづくり”

井田速美（会見町上野）

梨2.5haを栽培する果樹農家です。ブルーベリー、りんごなど趣味で作っているものもありますが、将来的には柿・梨・花・その他いろいろな農産物がある観光農園を考えています。また、町内加工グループと連携しての加工体験や販売をし、観光農園とセットで進めてみたい。

西伯町のことはあまりわからないので、これから少しずつ交流できたらいいと思っています。具体的提案ができませんが、新しい町では住民参加ができるシステムと町民の活力により、夢や希望が語れるまちづくりをお願いしたいと思います。



#### “強い農家の育成の手助けを”

加藤哲英（西伯町福成）

水稲を9反・大豆など野菜と花を3反作り、2反は貸し農園（米子市等の人に農地貸出）をしています。

農業も効率を追求していく必要があり、外国の農産物との競争に勝っていかなければならないし、今後の農業は、人とは違う特色ある農業で、消費者ニーズ・求められるものを作ることが課題である。

また、自分で作り楽しむ農業・こだわりの農業も今後のひとつの方向ではないかと思う。

新町・行政にお願いしたいのは、農作物の産地形成の整備をして、農業の専門家に配置していただき、強い農家を作る手助けをしていただきたいと思っています。

両町の皆さんに、新町への思い・希望・夢を語っていただきます。今回は、花・果樹等の栽培農家に話を伺いました。

今後も、両町民の方々の意見等を掲載したいと考えています。ご協力をお願いします。

#### “行政は最良の判断を”

前谷勝己（西伯町福成）

平成7年に退職しイチジク栽培を始め、現在17aのハウスで栽培しています。株枯れ病の対策が今の一番大きな課題で、谷川地区の産地拡大・新規に考えている人にも大きな障害となっていると思います。西伯町には、ハウス建設に補助金がありますが、農業を始めるのに必要な制度だと思っています。

会見町のことは良くわからない部分も有りますが、合併を考えるならばいい選択ではないでしょうか。本来は岸本町も一緒なのが良かったのですが、会見町と合併することは大変いいことだと思います。

合併しても、何もかも良くなるわけではないのですが、役場には今後も最良の判断をして欲しいと思います。

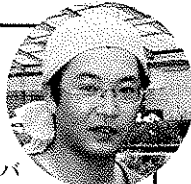


#### “両町を花いっぱい！”

白川立真（会見町金田）

10aのハウスにパンジー、ペゴニア、パナベナなど数十品種を栽培し、年間3回転のハウス利用により経営しています。今後は品種の更なる拡大と町内の人に安く提供していけるかを考えています。自信の持てる花を作り、自分で値段をつけて販売する直販を行いたい。

花壇苗の需要はまだまだ伸びる要素を持った市場だと思います。西伯町内での花の生産者を増やし、欲しい花は両町内ですべて買えるようにしたい。そして、両町生産者による旬の花のイベントが開催できればいいなと考えています。



## 協議会開催予定

第七回協議会  
七月 三日(木)  
午後一時三十分から  
会見町役場三階会議室

第八回協議会  
七月二十二日(火)  
午前九時〇〇分から  
下中谷 森林公園・森の学校

合併協議会は毎月開催しています。会議は公開を原則としており、どなたでも傍聴できます。

当日会場入り口において、会議開始時刻までに受付を行ってください。ただし、会場の都合により入場の人数制限をすることがあります。

## 協議会は傍聴できます



## “住民の声と後世への想い”

議会議員選挙後、西伯町議会の合併調査特別委員会の委員長に就任し、第5回協議会の席上、委員として委嘱を受け交代補充になりました。一生懸命任務に努めますのでよろしくお願い申し上げます。



合併協議会委員  
福田次芳

さて、協議会は既に第4回が終わり、合併方式や時期は決定されており、協議項目の各議論に入ることになります。住民の方々には様々な声がある事は承知しております。合併に対する課題は自分たちがつくる新しいまちづくりの声の高まりではないでしょうか。私は小さな行政（1万人強）で大きなしあわせを目指す地方自治の確立、公平・公正を理念として考えて参ります。

国・地方の財源、財政が逼迫し、今後の行政のあり方が問われているこの時期を乗り切り、経済・環境・人材等後世に対して何を残すか慎重に考えたい。

新しく協議会委員とられました、福田次芳様、吉次亮明様のお二人には今後大変お世話になります。新町誕生に向けご尽力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

## 新町誕生への想い

### “自分たちの町は自分たちで”

この頃の新聞報道で米子市との合併の動きについてはご承知のことと思いますが、私は合併問題が始まったときから近隣市町村の状況を検討してきました。その結果、現時点では西伯町との合併が最良との結論を出しました。



合併協議会委員  
吉次亮明

昔の人々は一人では不便だからと各戸が集まり集落を造ってきました。時代の変遷により町の形が変わって大きくなって基本は家であり集落です。集落を管理していくための費用を集め、その予算を持った組織が行政です。予算は住民の福祉を基本にして作られ、その上に町独自の目標を掲げます。私たちの町は農業です。農業に主眼を置く会見町と、そうではない米子市とはバランスが取れず、今でも苦しい農業を更に苦しめることとなります。

町民は、合併しても税金を支払っていかねばなりません。その税金がどのように使われるかを見極め、福祉や農業を守らねばなりません。

本当に自分たちの地域を守って行くために、福祉の向上につながる住み良い町を皆さんと共に創って行くではありませんか。皆さんの協力をお願いいたします。

## まちづくり100人委員会の予定

第3回まちづくり委員会から、円卓会議になります  
まちづくり委員100人が5つの部会に分かれ、新町建設  
計画作成に向け話し合いを始めます。

7月11日(金)午後7時30分から  
プラザ西伯において

